

## 生誕100年・画家小林五浪さん(坂下出身)描く

温かな包装紙  
「店のシンボル」

今年、日本美術院の画家として活躍した小林五浪さん(会津坂下町出身)の生誕100年に当たる。会津若松市河東町の福島医大会津医療センター近くにある、代田まんじゅう本舗では、小林さんが描いた絵の包装紙を長年にわたって使用しており、原健一郎代表は「これからも店のシンボルとして大切にしていきたい」と話している。

小林さんは2005年に79歳で亡くなるまで、アイヌやシルクロードなどをテーマにした日本画や「奥の細道」の墨画など多くの作

## 若松 代田まんじゅう本舗、遠縁で



小林さんが描いた包装紙と昔ながらのお菓子

品を生み出した。小林さんは原代表の遠縁に当たることから、50年ほど前に包装

紙のデザインを手がけてくれたという。

包装紙は小林一茶の句に合わせて梅の花と茶わんを描いたものと松尾芭蕉が「奥の細道」の旅をする様子を描いたものの2種類で、店内には原本が飾られている。どちらも柔らかく温かいタッチが特徴的で、中には「商品を包まないで包装紙を持ち帰りたい」という客もいるという。

1879(明治12)年創業の同店は伝統製法にこだわったまんじゅうやどら焼き、かしわ餅など季節の和菓子が人気で、県外からも多くの客が訪れる。原代表は「お菓子とともに小林さんの味のある絵も楽しんでもらえれば」と話している。問い合わせは同店(電話0242・75・2067)へ。